

令和8年度第1回学校運営協議会議事録

【日 時】令和8年6月16日（火）9:50～11:30

【場 所】本校会議室

【参加者】A氏（学識関係者）
B氏（行政関係者）
C氏（地域関係者）
D氏（福祉関係者）
E氏（福祉関係者）
F氏（PTA関係者）
校長

オブザーバー出席：副校長、事務長、総括教務主任、小学部主事、中学部主事、
高等部主事、寄宿舍指導員

1 開 会

2 校長挨拶

はじめに、本来であれば、辞令交付として皆さまへ学校運営協議会の委員として御委嘱申し上げるところですが、お手元にある辞令書をもって代えさせていただきますことをご了承願います。

それでは、改めまして、本日は、ご多用のところ、お集まりいただき、ありがとうございます。

委員の皆さまには、日頃より、本校の教育活動に、多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校では、令和4年度に学校運営協議会がスタートし、熟議を重ねながらよりよい学校運営につなげてまいりました。

昨年度は「光陵スタイル」と題して本校の学習の取り組みを紹介したり、意見交換やご助言をいただいたりしました。今年度も、年3回の学校運営協議会を計画しておりますが「光陵スタイル」を柱として、委員の皆さまと共に、子どもたちにとって安心安全な学校、教職員にとって、働きやすさ、働きがいのある学校づくりをしてまいりたいと考えております。委員の皆さまには、気仙光陵支援学校の応援団として、教育、行政、福祉、医療、企業、地域、保護者、様々な視点から、忌憚のないご意見や貴重なご提言をいただきたく存じます。

本日の学校運営協議会が、本校のさらなる発展に繋がる実り多いものとなりますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

3 出席者自己紹介

4 会長・副会長選出

A氏が会長を務め、B氏が副会長を務めることが承認された。

会長挨拶: 授業が様々な工夫を凝らし進められており、良いところは小学校の方でも是非生かしていきたい。私ができることがあれば何でもやっていきたいと考えている。皆さんのご協力をお願いしたい。

5 協議（進行：会長）

（1）令和8年度学校経営方針について（資料p1：校長から説明）

- ・**教育目標:** 「一人一人が光り輝き、心豊かにたくましく生きる人を育てる」に改定（「人間」から「人」に変更し、目指す児童生徒像と整合）。
- ・**目指す学校像:** 昨年度から変更なし。
- ・**経営方針・重点:** 5つの経営方針のもと、授業づくりの充実、キャリア教育の充実、防災・復興教育、いじめ防止、地域社会に開かれた学校づくり、職員のコンプライアンス意識向上、組織的な業務推進などを重点としたこと。

→ 質問・意見なし。承認。

(2) 令和8年度学校経営計画について(資料p2:校長から説明)

- ・県様式に基づいた学校経営方針で、「いじめ対策」や「不適切な指導の根絶」に関する目標が県の指示で追加したこと。
- ・**達成指標**: 令和7年度の学校評価に基づき設定。特に「働き方改革」に関する肯定的な評価80%以上に引き上げることを重点目標としたこと(昨年度は70~75%)。
- ・**業務量管理・健康管理措置(県からの新たな指示)**:
 - ・月当たりの時間外在校時間の縮減を目指すこと。
 - ・学校閉庁日について拡大設定すること(今年度は夏季休業期間を延長)。
 - ・ストレスチェックに基づく医師の面談指導の推奨すること。
- ・**課題認識**: 教職員の心身の不調による病気休職者の増加、全国的な教員不足、児童生徒や保護者対応の困難さが増していることから、福祉・行政との連携強化がより一層重要であること。
- ・**チームとしての学校経営**: 学校経営は校長一人ではなく、職員一人ひとりが組織の一員として力を発揮できるよう環境づくりをしていくこと。

→ 質問・意見なし。承認。

(3) 令和8年度働き方改革アクションプランについて(資料p3:校長から説明)

- ・**目的**: 教師の専門性向上と生活の質の向上を通じて、人間性と創造性を高め、効果的な教育活動に繋げること。単なる業務削減ではないこと。
- ・**現状**: 月80時間を超える時間外勤務者はゼロ。年次休暇の平均取得日数は14.5日(令和7年度)。年間5日以上の子次休暇取得者の割合は87.7%(昨年度から微減)。
※資料訂正:「参考: R5年度14.6日 → R6年度14.6日」
- ・**目標**:
 - ・教職員一人ひとりの時間外在校時間を前年度より下回ること。
 - ・働き方改革に関する肯定的評価を80%以上にすること。
 - ・年次休暇を5日以上取得する職員の割合を95%以上にすること。
- ・長期休業期間の延長や学校閉庁日の設定により、教職員のリフレッシュを促す方針であること。

→ 質問・意見なし。承認。

(4) 令和8年度「光陵スタイル」について(資料p4~6:副校長から説明)

- ・**背景**: これまでの学校運営協議会での議論を基に、学校と地域がいかに連携し、学校の魅力を発信しながら児童生徒を育てていくかという方針をまとめたもの。
- ・**教職員への浸透**: 教師一人ひとりの「エージェンシー(主体性)」を生かす学校経営を目指し、個人の「面白さ」を学校全体の「面白さ」へ繋げることを目標とした。
- ・**令和7年度の振り返り**: 教師個々の学びは深まったが、それを実際の児童生徒指導、授業、学校改善に繋げる実践が不足していた点が課題として認識された。
- ・**令和8年度の目標**: 学びを児童生徒支援、授業、学校経営に直接生かす姿勢を持つこと。

- ・期待される効果：「させられる研修」から「率先してやりたくなる研修」への転換、教師の対話力向上、判断力向上、学校全体の意思決定の質の向上。
- ・自己評価チェックシートの結果：
 - ・「中長期的な学校のあり方を意識する」と「自分の学びや気づきを他の教員に共有しようとする」の2項目が他の項目に比べて低い評価であった。
 - ・これらの点を意識しながら教師エージェンシーを推進していくことを確認した。
- ・光陵スタイルの図解：学校と地域が一体感をもち、教育活動を通じて対話とフィードバックを行い、継続的に改善していくビジョンを示したものの。

→ 質問・意見なし。承認。

【各学部の取り組み報告】

- 小学部：**児童数 16 名（3 名入学、6 名卒業）。適切な評価と指導の充実、組織的で効率的な業務推進を重点とする。
- 中学部：**生徒数 13 名（8 名から増加）。チームとしての学部運営を重視し、地域での具体的な活動（例：ピーマン交流、地域の製材所と連携した被災木による木工製品作り）を推進する。
- 高等部：**生徒数 28 名（14 名入学）。「よく見て、聞き、考える人」「協力して生活する人」「健康的に生き生きと生活する人」を目標に、教職員間で生徒の成長を共有できる環境づくりを重点とする。産業現場実習、震災学習、キャリア教育、伝統文化活動（気仙太鼓、権現舞）など体験的な学習を計画している。
- 寄宿舎：**14 名（男子 11 名、女子 3 名）。少人数でも一人ひとりに必要な支援を重視し、家庭や学校との連携を密にする方針である。

6 委員の皆様から（学校に対する提言、要望、本日の感想等）

- ・A氏： 授業を拝見し、温かさがうまく伝播し、温かい雰囲気が出ていると感じた。引き続き応援していきたい。
- ・B氏： 学校に要介助者を対象とした福祉避難所として協力していただいております、とても心強く感じています。また、被災木を活用した製品づくりなど、地域との連携を深めていただいていることに感謝しています。今後とも協力していきたい。
- ・C氏： 県として議事録は簡略化の方針になっているはずだが、昨年から届いた議事録は、内容がかなり詳細なものであった。それがホームページに掲載されることについて、その意図を問いたい。
 - 校長：県の運営方針により、詳細な議事録作成と公開が義務付けられている。また、事前に資料を共有し、ご意見を整理していただけるようにしている。
 - C氏：詳細が掲載されるようになると、発言が抑制される可能性があるのではないか。
 - 校長：周知の範囲によって発言内容が異なってくることも考えられるが、議事録公開は指示されているものであるため、内容確認を経て掲載するよう慎重に対応していきたい。

- ・D氏：福祉分野でも人材不足や育成が課題となっている。それに加え、働き方改革が教育・福祉の質の低下に繋がらないよう注意が必要だと感じている。地域の子どもたちへの福祉を、共に頑張っていきたい。
- ・E氏：学校方針やアクションプランが体系化されている一方、教師のやるべきことの優先順位が不明確であることやプランが抽象的であることが、教師の職務増大につながっていないか心配している。また、評価については達成率が示されるが、その中には必ず課題があるはずであり、見る側としては、その数値が評価としてよりよいものであったのか判断しづらい。組織として取り組むにあたっては、教師のやるべきことを単純化、明確化して実践し、評価していくことが働き方改革に繋がるのではないかと。
- ・F氏：保護者の立場から、教員の働き方改革によって夏休みが拡大したが、放課後デイサービスの受容にも制限があり、対応できない家庭が出てくるだろう。介護職の人材不足や発達障害児の増加など、市・県・全国レベルでの福祉課題を感じている。

【校長からの謝辞】

本日はたくさんの貴重なご意見を頂戴しました。心より感謝申し上げます。

本校の教育活動にあたり、委員の皆様にご理解と、様々なご助言やご提言をいただき、大変心強く感じました。

F氏からのご意見につきましては、本校からの県政要望の一つとして、県特P連事務局へ提出する予定です。

今後とも、学校運営協議会の皆さまからご意見をいただきながら、よりよい学校経営に努めてまいります。

本日は、誠にありがとうございました。

7 諸連絡

次回の学校運営協議会は10月28日、第3回は2月に予定。今後の会議は、教職員との対話促進のため、午後に開催されることが報告された。

8 閉会